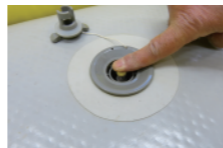


収納方法

- ①両サイドチューブとセンター DS フロアのバルブのキャップを開け、バルブの中央にあるギザギザが付いた逆止弁パーツを指で押し下げながら時計回りに回して、下げた(開いた)状態にして空気を抜きます。
- ②フィン、シートを外し、汚れを落として乾かします。(センター DS フロアを外して乾かすと早いです。)
- ③カヤックを裏返し、前後の先端部分にたまった水をしっかり抜きます。
- ④センター DS フロアの下と本体の間に入りこんだ小石や砂を綺麗に取り除きます。
小石などが挟まった状態での収納や使用は本体破損の原因になるのでご注意ください。
- ⑤本体両サイドのチューブを少し内側に折り、バルブの反対側から空気を押し出すように膝で押し抜きながら畳んでいきます。同様にセンターフロアも本体と同じようなサイズになるよう空気を抜きながら畳みます。
- ⑥折りたたんだ状態で空気が抜けたら逆止弁を上げて(閉じて)、キャップをはめ、畳んだフロアを間に挟んでベルトで止めます。



☝ キャリーケースの幅より少し狭く畳むと収納しやすいです。

畳み方

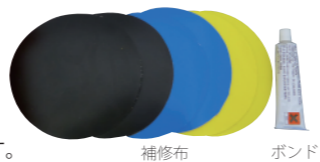


☝ アウターチューブの中にフロアを入れたまま同時に畳むことも可能です。その際には小石等を挟み込まないようにご注意ください。

修理方法

【大きな破損の場合】

- ①本体の修理は全ての空気を抜き、修理部分を中心に広げて行います。
- ②リペア箇所をきれいに洗浄し、完全に乾かします。
- ③修理部分より 20mm以上大きめに #100 番程度のサンドペーパーで荒らし、脂分を取り除きます。
細かい汚れを掃いたら、接着剤がはみ出さないようにマスキングテープで囲います。
上に貼る補修布を同サイズに切り、角を丸め、補修布の接着面もサンドペーパーで荒らして同様の準備をしておきます。
- ④ボンドを本体と補修布の両方に薄く塗り 20 分ほど待って完全に乾かします。乾いたら再度ボンドを両方に塗り、20 分ほど待ちます。
- ⑤両面が乾いた状態になってから、補修布と修理面を **ドライヤーなどで炙って温めながら**、間に空気が入らないように押し付け、ローラーなどで押さえて貼り付けます。ゴムハンマーで叩くのも効果的です。
- ⑥当て木をしてシャコ万力(クランプ)等で固定するか、重石を乗せ 24 時間以上放置した後空気を入れて、漏れが無いが確認してください。



☝ **硬化が不完全な状態で不用意に補修布をめくってしまうと、接着力が落ちてしまいますのでご注意ください。**

【小さな空気漏れ(ピンホールの場合)】

目視できないような小さな空気漏れはチューブを膨らませた状態で本体に耳や頬を当て探します。それでも見つからない場合には怪しいところに石鹸水を散布させて気泡が出てくるところを特定します。空気漏れのピンホールを発見したら、石鹸をきれいに除去し完全に乾かしてから大きな破損と同じ要領で修理します。穴が極小の場合は、ボンドを 1 滴垂らして 24 時間待てば実用可能になる場合もあります。(補修作業は空気を抜いて行ってください。)

手入れと保管

- ☝
- 使用後は真水で洗浄してください。汚れがひどい時は中性洗剤で、スポンジや雑巾など本体にキズが付かない柔らかいものを使って洗い落としてください。金属ブラシやシンナー等の有機溶剤などは絶対に使用しないでください。
 - 完全に自然乾燥させてから、湿気の少ない直射日光の当たらないところ(常温)で保管してください。
 - シートの内側は乾きにくいのでフォーム材を取り出し、乾燥させてから保管してください。
 - 本体を折り曲げた角から損傷することがあるので、無理にきつく折りたたんだり、上に重い物を乗せることは避けてください。

STAR
CORP.

株式会社スター商事
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-5-16
WS事業部 Tel: 03-5604-5001
Tel: 03-3805-2651(代) Fax: 03-3891-7042
URL <https://www.star-corp.co.jp> E-mail: info@star-corp.co.jp

MARSYAS DUCKY 取り扱い説明書

このたびはマーシャス・ダッキーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本取り扱い説明書はマーシャス・ダッキーを正しくお使いいただくために必要な事柄やご注意ください点を明記しております。
ご使用になる前に必ずお読みください。

CAUTION



- カヤックは障害や死亡もありえるスポーツだということを十分にご理解の上お楽しみください。
*このモデルに合わせたカヤックスクールでレッスンを受けることが最善です。
- 1) 能力に合ったフィールドを選び、必ずライフジャケットを着用する。状況に応じてヘルメットも着用する。
 - 2) 体調に注意し、一人でパドリングしない。
 - 3) 漕ぎ出そうとする水域や陸上の状況、水量、水位、干満、天候の変化などを事前に十分調査する。
 - 4) 乗艇、脱艇などの妨げになる改造、艦装、積載はしない。
- 上記のような基本的な事柄を販売店とスクールでしっかりと学び安全項目を理解して、事故のないようにパドリングをお楽しみください。

各部名称と機能



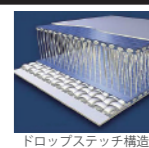
ドレインホール
ボートの中にとまった水を自動で排水させるための穴です。

フィン
湖などの静水域で、直進性を向上させるために使用します。

フロアベルト
本体とフロアを固定するためのループですが、

シート
バンクの心配の無いフォームシートを採用。

ドロップステッチフロア
フロアには耐久性の高い繊維を束ねた糸で生地の上下面をつなぎ合わせ、空気を入れた際に無数の糸が上下の生地を引っ張る『ドロップステッチ構造』を採用。
高圧での空気注入が可能になり高い剛性と安定性を実現しています。



ドロップステッチ構造

フットレスト
足裏で踏ん張るために使います。位置はパドラーに合わせて調整できます。

グラブハンドル
ボートの前後にあり、運搬や移動の時に使います。

D リング
シートの固定や荷物の固定に使ったり、別売のサイストラップ(ボートを膝で操作するための補助具)の固定に使います。

バルブ
後方に3箇所にあります。

Pro250DS-Wide

アウターチューブ(本体)
表面生地は0.9mmのPVC樹脂層で速乾性に優れています。両サイドのチューブ、ボトムシート、スターン、バウのカバーが一体となっています。



Pro100DS-B

Pro200DS-B

Pro150DS-Wide

標準装備品



フットレスト

カヤックシート

フィン

ゲージ付きポンプ

リペアキット

簡易キャリーケース

*2人乗りは2セット付属